

**新3か年経営計画
&
2008年3月期決算説明会**

2008年5月13日

南海電気鉄道株式会社

本日の内容

1. 前3か年経営計画「進化123計画」の総括……………P 3
2. 新3か年経営計画「堅進126計画」について……………P 13
3. 2008年3月期決算の概要……………P 28
4. セグメント別の状況……………P 32





1. 前3か年経営計画
「進化123計画」の総括

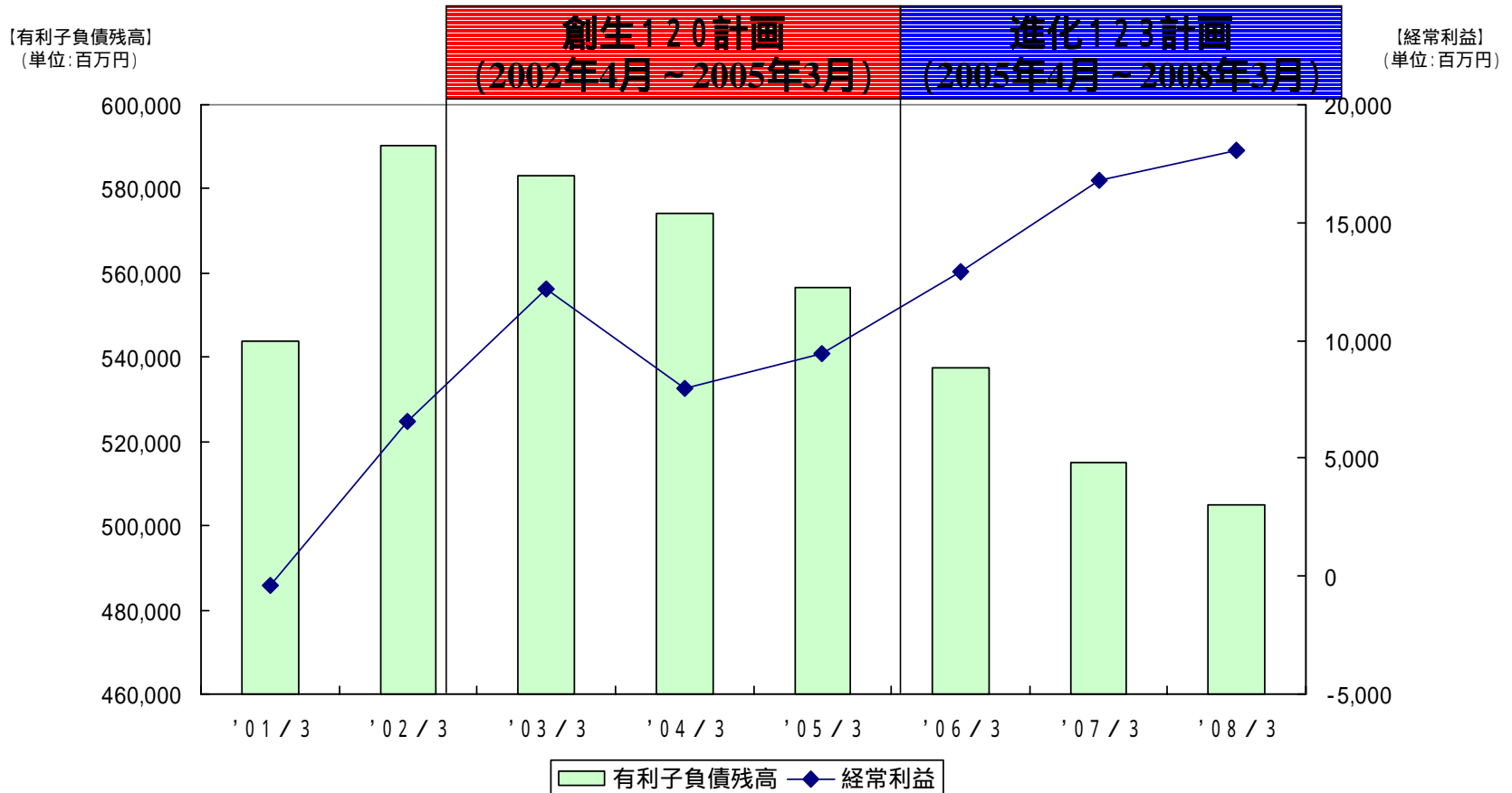
1. 前3か年経営計画「進化123計画」の総括

1) 「進化123計画」までの経緯

2001年 3月	連結経常、当期損益段階で2年連続の赤字計上(3円に減配)
3月	タクシー事業の譲渡を皮切りにグループ会社の整理を開始(2008年3月までに51社を整理)
2002年 3月	退職給付会計基準変更時差異の一括処理や子会社の整理損等の特損計上等により当期損失551億円を計上(無配に)
4月	3か年計画「創生120計画」開始(目標:当期純利益50億円・ROE4%・連単倍率1.4倍・有利子負債残高5800億円)
2003年 9月	南海サウスタワーホテル大阪の営業を譲渡(直営から賃貸に)
10月	なんばパークス第1期開業
2005年 3月	「創生120計画」の目標達成(当期純利益77.37億円・ROE6.1%・連単倍率1.4倍・有利子負債残高5565億円)
4月	3か年計画「進化123計画」開始(目標:経常利益100億円 11月修正130億円・有利子負債残高5300億円以下)
2006年 4月	貴志川線を譲渡
4月	希望退職の実施や退職金制度の改定など人件費の構造改革を実行
2007年 4月	なんばパークス全館開業
2008年 3月	「進化123計画」の目標を達成(経常利益189億円・有利子負債残高5023億円、5円に復配を予定)

1. 前3か年経営計画「進化123計画」の総括

2) 経常利益と有利子負債残高の推移



1. 前3か年経営計画「進化123計画」の総括

3) 連結業績のまとめ

(単位:百万円)

	2006年3月期 実績	2007年3月期 実績	2008年3月期 実績	2008年3月期 予想(10月)
営業収益	190,450	192,986	188,254	193,000
営業利益	23,525	26,574	28,873	28,100
経常利益	12,923	16,783	18,909	18,200
当期純利益	6,543	6,242	11,365	10,600
設備投資額	22,181	23,767	24,855	30,300
減価償却費	19,115	18,783	20,281	20,100
有利子負債残高	537,595	515,124	502,348	504,200

2008年3月期目標 経常利益130億円、有利子負債残高5300億円以下

1. 前3か年経営計画「進化123計画」の総括

4) 営業収益及び営業利益の内訳

(単位:百万円)

営業収益	2006年3月期 実績	2007年3月期 実績	2008年3月期 実績	2008年3月期 予想(10月)
運輸業	84,651	85,126	86,010	85,600
不動産業	25,507	25,078	31,560	32,100
流通業	28,209	26,613	25,374	25,700
レジャー・サービス業	28,365	28,057	29,826	29,100
建設業	46,978	49,681	34,525	38,300
その他の事業	4,473	4,392	4,034	4,300
消去又は全社	(27,736)	(25,962)	(23,076)	(22,100)
合計	190,450	192,986	188,254	193,000

営業利益	2006年3月期 実績	2007年3月期 実績	2008年3月期 実績	2008年3月期 予想(10月)
運輸業	10,947	14,297	14,004	13,400
不動産業	8,456	8,721	10,902	11,000
流通業	1,884	1,488	2,393	2,100
レジャー・サービス業	1,503	1,177	1,328	1,100
建設業	716	718	45	400
その他の事業	227	338	312	300
消去又は全社	(211)	(167)	(23)	(200)
合計	23,525	26,574	28,873	28,100

1. 前3か年経営計画「進化123計画」の総括

5) 鉄道輸送人員と旅客収入の推移

		2006年3月期		2007年3月期		2008年3月期		2008年3月期 予想(10月)
		実績	増減率	実績	増減率	実績	増減率	
輸 送 人 員 (千人)	定期外	88,581	1.8%	89,237	0.7%	90,330	1.2%	90,688
	定期	145,181	0.2%	142,425	1.9%	143,275	0.6%	142,326
	合計	233,762	0.5%	231,662	0.9%	233,605	0.8%	233,014
旅 客 収 入 (百万円)	定期外	30,266	1.2%	30,750	1.6%	31,127	1.2%	31,327
	定期	24,293	0.1%	23,888	1.7%	24,005	0.5%	23,880
	合計	54,560	0.6%	54,639	0.1%	55,132	0.9%	55,207

1. 前3か年経営計画「進化123計画」の総括

6) 運輸業 TOPICS

鉄道事業

空港アクセスの強化のためダイヤ改正を実施(2005年11月)

貴志川線を和歌山電鐵に営業譲渡(2006年4月)

ICカード乗車券を導入(2006年7月)、
IC定期券を発売(2007年4月)



空港特急ラビート(左)と特急サザン

その他の運輸業

南海淡路ライン(泉佐野～津名港航路)を営業終了(2007年2月)

南海バスが大阪市交通局・井高野営業所の路線バス業務を受託(2007年4月)

堺市東西鉄軌道(LRT)事業の経営予定者に決定(2007年6月)

1. 前3か年経営計画「進化123計画」の総括

7) 不動産業、流通業 TOPICS

ターミナル開発

なんばパークスを全館開業(2007年4月)

なんばCITYをリニューアル
(メゾゾーン2006年9月、レストランゾーン2007年6月)

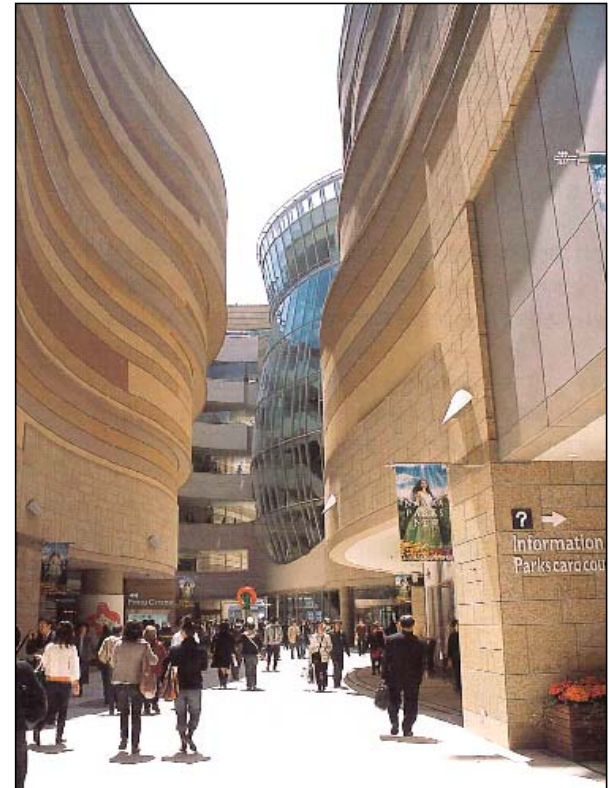
南海ビル、難波駅の改造に着手(2009年秋完成予定)

住宅開発

林間田園都市の開発計画を一部凍結(2007年1月)

堺東駅前のマンション用地を売却(2008年3月)

「棚卸資産の評価に関する会計基準」を適用
(2007年4月)



なんばパークス

1. 前3か年経営計画「進化123計画」の総括

8) レジャー・サービス業 TOPICS

葬祭事業に参入

(1号店2006年3月、2号店2007年5月)

指定管理者制度に基づき

公営施設の運営受託開始(2006年4月)

ホテル・旅館業を整理

- ・ホテルリーヴァ南海(2006年3月)
- ・ホテル南海なんば(2006年12月)、
- ・観光旅館「萬波」(2007年3月)

場外舟券売場「ポートピア梅田」を運営受託
(2007年3月)



ポートピア梅田

1. 前3か年経営計画「進化123計画」の総括

9) 沿線 TOPICS

なんばに新しい商業施設が開業(ヤマダ電機2006年3月、なんばマルイ2006年9月)

関西国際空港第2滑走路が供用開始(2007年8月)

(関西国際空港用地造成株式会社提供)

阪神なんば線が延伸(2009年春開業予定)

高島屋大阪店が増床リニューアル
(2009年秋～2010年にかけて開業予定)

シャープが堺に液晶パネルの新工場を
建設(2010年春操業開始予定)



関西国際空港



2. 新3か年経営計画
「堅進126計画」について

2. 新3か年経営計画「堅進126計画」について

<「堅進126計画」の考え方>

企業としての社会的責任を果たすとともに、
事業の堅実な成長を成し遂げる。

～「攻め」と「守り」両面からなる、5つの基本方針～

「環境保全」のための取組み強化

- ・環境に優しい公共交通サービスのご利用を促進
- ・すべての事業活動において、「環境負荷の軽減」を重視

提供するサービスの品質向上

- ・「安全」、「安心」への信頼の強化
- ・サービスマインド、スキルの向上

なんばエリアのさらなる価値向上

- ・自社物件の競争力強化
- ・まちづくりのコーディネート

有望事業の成長加速

- ・不動産賃貸関連ビジネス
- ・指定管理者制度関連ビジネス

沿線活性化の推進

- ・エリア別戦略の実施

2. 新3か年経営計画「堅進126計画」について

「環境保全」のための取組み強化

<基本方針>

1. 環境に優しい公共交通サービスのご利用を促進する。
2. すべての事業活動において、「環境負荷の軽減」を重視する。

<2010年度までの削減目標を設定>

「今後3年間で事業活動によるCO₂排出量を3%削減」

<主な取組み>

1. 自社所有林(愛称「なんかいの森」)を育成 (継続事業)
 - ・総面積:約500ha
 - ・場所:和歌山県護国神社山付近
2. 沿線地域での緑化NPO、アジアでの植林NGO等を支援
ミナピタカードポイントを活用した会員・当社共同参加型
プロアマチャリティゴルフの開催(第1回:2008年6月、大阪ゴルフクラブ)
3. 省エネ型車両の導入
 - ・省エネ型鉄道車両 42両
 - ・低燃費バス 240両
4. 太陽光発電の試験利用
 - ・泉佐野駅(2008年)、以降順次設置

2. 新3か年経営計画「堅進126計画」について

提供するサービスの品質向上

<基本方針>

1. 当社グループの全事業のベースとなっている「安全・安心」を第一として、商品・サービスの提供に取り組む。
2. お客さまに高品質なサービスを提供できるよう、サービスマインド、サービススキルの向上を進める。

<主な取組み>

1. 交通部門を中心とした安全教育の徹底
2. 鉄道安全性向上投資の実施（新型ATS、運転記録装置等を順次設置）
3. 鉄道における安全・安心パトロールの拡大
4. 案内サイン及び放送等の多言語化の推進
5. 第三者機関によるサービスレベル評価の実施（駅、商業施設等）

2. 新3か年経営計画「堅進126計画」について

なんばエリアのさらなる価値向上

<基本方針>

1. 街の独自性、「大阪らしさ」を活かしながら、多彩な都市機能が集積する街づくりを推進
・「なにわ文化発信機能」 ・関空直結の「ゲートウェイ機能」 等
2. 南海難波駅を核に、周辺エリアとの回遊性向上及び賑わい創出
・南北方向の回遊性強化(近鉄難波駅～南海難波駅・なんばパークス) 等

<主な取組み>

1. 自社物件のブラッシュアップによる競争力の強化
 - ホテル南海なんば跡地 サービスアパートメント計画 (次々ページ参照)
 - なんばCITY再生リニューアル計画 (2009年から段階実施、2010年春完成予定)
開業30周年を迎え、高感度で鮮度のあるブランドを導入
 - 南海会館ビル建て替え (時期未定)
行政との協議を経て、計画策定に着手、なんばの新たなフラッグシップに
2. なんばの街づくりを積極的にコーディネート
周辺地権者、地域団体、行政との連携強化

なんばエリアマップ

近鉄日本橋駅
千日前線・堺筋線 日本橋駅

高島屋東別館

堺筋線
恵美須町駅

阪堺線
恵美須町駅

南海
今宮戎駅

NGK

なんばCITY

高島屋TE館

南海新設駅

なんば
パークス

駐車場

住宅展示場

南海ビル

スイスホテル
南海大阪

パークス
タワー

ザ・なんば
タワー

ヤマダ電機

クボタ

駐車場

マルイ

御堂筋線
なんば駅

サービスアパート
建設予定地

南海ターミナルビル

難波再開発地区 計画区域

大阪木津地方
卸売市場

近鉄・阪神なんば駅
千日前線 なんば駅

新歌舞伎座

府立
体育会館

四ツ橋線・御堂筋線
大国町駅

四ツ橋線
なんば駅

湊町リバープレイス

JR難波駅

2. 新3か年経営計画「堅進126計画」について

なんばエリアのさらなる価値向上

ホテル南海なんば跡地 サービスアパートメント計画について

1. サービスアパートメントとは
 - ・ホテルのようなコンシェルジュ、ハウスキーピングサービスを受けられる、キッチン、家具付きの賃貸住居
2. 事業目的
 - ・なんばエリアにおけるビジネスサポート機能及び宿泊機能の強化
3. 主な顧客層
 - ・長期滞在型の外国人及びビジネスマン
4. 施設概要
 - ・ホテル南海なんば跡地(面積1,232㎡)に建設
 - ・地上13階
 - ・延床面積7,200㎡
 - ・室数120室(予定)
5. 開業予定 2010年秋

完成予想イメージ



2. 新3か年経営計画「堅進126計画」について

有望事業の成長加速

<基本方針> 非鉄道事業分野での収益基盤の着実な拡充を進める。

<主な取組み>

1. 不動産賃貸関連ビジネスを強化（首都圏、大阪市、堺市他。M & Aの検討も）
 - ・自社開発による賃貸マンション、賃貸ビルの拡充
 - ・プロパティマネジメント & ビルメンテナンスビジネスの拡充
 - ・リフォーム事業の拡充
2. 公共サービスの民間開放関連ビジネスを強化(指定管理者制度を含む)
 - ・公営交通の受託
堺市内LRT計画 等
 - ・公営施設の運営受託、物件の購入・再生
3. その他
 - ・葬祭ビジネスの拡大(7店舗体制の確立)
 - ・新規事業への進出

2. 新3か年経営計画「堅進126計画」について

沿線活性化の推進

< 基本方針 >

当社沿線を5つのエリアに区分し、各エリアの特性・情勢に応じてきめ細やかに施策を実行する。

< 主な取組み >

エリア名	対象区域	主要施策（検討中を含む）
大阪市内エリア	大阪市南部	・なんばエリアの価値向上 ・阪堺線沿線での観光振興
りんくう・湾岸エリア	堺市以南の南海線沿線	・シャープ&関空関連ビジネスの展開 ・みさき公園、大阪ゴルフクラブの整備 ・和大新駅(2011年度末開業予定) ・和歌山市駅活性化計画
高野線郊外エリア	堺市以南の高野線沿線及び泉北ニュータウン	・ニュータウン関連ビジネス ・林間田園都市への企業、学校誘致活動
高野山エリア	高野山及び周辺地域	・「こうや花鉄道計画」 (橋本駅～高野山駅間の観光路線化)
南紀・徳島エリア	南紀地域、徳島県	・観光関連ビジネスの強化

- 南海線
- 高野線
- 空港線
- - - 南海四国ライン
- 泉北高速鉄道
- 大阪市内エリア
- りんくう・湾岸エリア
- 高野線郊外エリア
- 高野山エリア
- 南紀・徳島エリア

りんくう・湾岸エリア

- ・シャープ&関空関連ビジネスの展開
- ・みさき公園、大阪ゴルフクラブの整備
- ・和大新駅(2011年度末開業予定)
- ・和歌山市駅活性化計画

シャープ新工場

大阪市内エリア

- ・なんばエリアの価値向上
- ・阪堺線沿線での観光振興



高野線郊外エリア

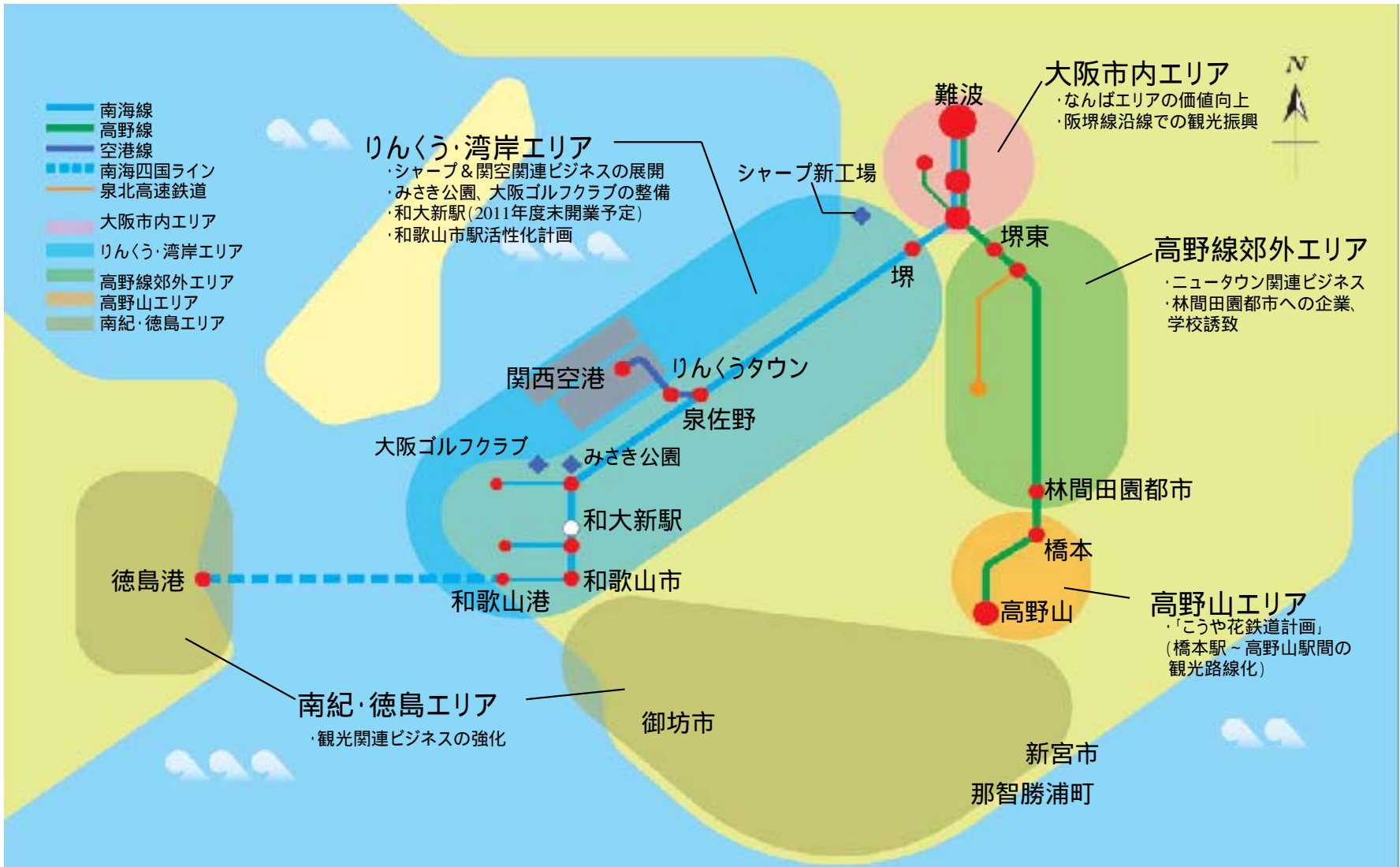
- ・ニュータウン関連ビジネス
- ・林間田園都市への企業、学校誘致

高野山エリア

- ・「こや花鉄道計画」(橋本駅~高野山駅間の観光路線化)

南紀・徳島エリア

- ・観光関連ビジネスの強化



2. 新3か年経営計画「堅進126計画」について

最終年度(2011年3月期)数値目標

有利子負債リスクを見極めながら、堅実に利益を計上する。

	2011年3月期 目 標
連結経常利益	170億円以上
連結有利子負債残高 / EBITDA倍率	10倍未満

E B I T D A = 営業利益 + 減価償却費

2. 新3か年経営計画「堅進126計画」について

年度別計画

(単位:百万円)

	2008年3月期 実績	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期
営業収益	188,254	190,300	195,600	204,300
営業利益	28,873	20,500	23,600	27,400
経常利益	18,909	10,700	13,900	17,200
当期純利益	11,365	16,000	9,000	11,100
設備投資額	24,855	42,800	34,200	28,100
減価償却費	20,281	21,700	22,400	22,800
有利子負債残高	502,348	516,800	514,800	500,000
有利子負債残高 / EBITDA倍率	10.2倍	12.3倍	11.2倍	10.0倍

設備投資額は圧縮前数値

2. 新3か年経営計画「堅進126計画」について

営業収益及び営業利益の内訳

(単位:百万円)

営業収益	2008年3月期 実績	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期
運輸業	86,010	86,800	87,400	87,100
不動産業	31,560	25,100	27,000	30,800
流通業	25,374	23,700	24,600	27,500
レジャー・サービス業	29,826	30,500	35,100	36,800
建設業	34,525	44,500	43,800	43,900
その他の事業	4,034	4,100	4,700	4,700
消去又は全社	(23,076)	(24,400)	(27,000)	(26,500)
合計	188,254	190,300	195,600	204,300

営業利益	2008年3月期 実績	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期
運輸業	14,004	11,200	12,300	12,900
不動産業	10,902	6,700	8,400	9,400
流通業	2,393	700	300	2,400
レジャー・サービス業	1,328	1,100	2,100	2,200
建設業	45	900	600	700
その他の事業	312	300	300	200
消去又は全社	(23)	(400)	(400)	(400)
合計	28,873	20,500	23,600	27,400

2. 新3か年経営計画「堅進126計画」について

設備投資額及び減価償却費の内訳

(単位:百万円)

設備投資額	2008年3月期 実績	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期
運輸業	14,131	18,500	13,700	16,200
不動産業	2,759	19,200	16,600	6,300
流通業	5,807	2,300	2,600	5,000
レジャー・サービス業	2,083	3,100	1,600	900
建設業	66	100	100	100
その他の事業	6	-	-	-
消去又は全社	0	400	400	400
合計	24,855	42,800	34,200	28,100
減価償却費	2008年3月期 実績	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期
運輸業	11,688	12,900	13,200	13,100
不動産業	3,929	3,900	4,400	4,600
流通業	3,200	3,200	3,300	3,600
レジャー・サービス業	1,680	1,800	1,600	1,600
建設業	137	-	-	-
その他の事業	28	-	-	-
消去又は全社	384	100	100	100
合計	20,281	21,700	22,400	22,800

2. 新3か年経営計画「堅進126計画」について

鉄道輸送人員と旅客収入の予想

		2008年3月期 実績	2009年3月期		2010年3月期		2011年3月期	
			予想	増減率	予想	増減率	予想	増減率
輸 送 人 員 (千人)	定期外	90,330	90,347	0.0%	90,682	0.4%	90,744	0.1%
	定期	143,275	142,421	0.6%	143,647	0.9%	143,755	0.1%
	合計	233,605	232,768	0.4%	234,329	0.7%	234,499	0.1%
旅 客 収 入 (百万円)	定期外	31,127	31,245	0.4%	31,708	1.5%	31,726	0.1%
	定期	24,005	23,893	0.5%	24,093	0.8%	24,111	0.1%
	合計	55,132	55,138	0.0%	55,801	1.2%	55,838	0.1%



3. 2008年3月期決算の概要

3. 2008年3月期決算の概要

1) 業績ハイライト

(単位:百万円)

	2007年3月期	2008年3月期	増減額	増減率(%)
営業収益	192,986	188,254	4,731	2.5
営業利益	26,574	28,873	2,298	8.7
経常利益	16,783	18,909	2,126	12.7
当期純利益	6,242	11,365	5,123	82.1
総資産	829,893	806,024	23,869	2.9
純資産	115,987	118,656	2,668	2.3
有利子負債残高	515,124	502,348	12,775	2.5

3. 2008年3月期決算の概要

2) キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

	2007年3月期	2008年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,839	34,040
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,226	19,549
財務活動によるキャッシュ・フロー	24,187	15,069
現金及び現金同等物 期末残高	18,490	17,912

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益の増加等により、42億円の増

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資有価証券の売却による収入が前期を大幅に下回ったこと等により、113億22百万円の減

財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金返済等により、150億69百万円の流出

3. 2008年3月期決算の概要

3) 資産の状況

(単位:百万円)

	前期末 (2007年3月末)	当期末 (2008年3月末)	増減額
流動資産	113,765	94,550	19,214
現金及び預金	19,586	18,908	678
たな卸資産	49,445	41,548	7,896
固定資産	716,128	711,473	4,654
有形固定資産	664,537	664,996	459
資産合計	829,893	806,024	23,869
負債合計	713,906	687,368	26,538
有利子負債	515,124	502,348	12,775
純資産合計	115,987	118,656	2,668
負債純資産合計	829,893	806,024	23,869



4 . セグメント別の状況

4. セグメント別の状況

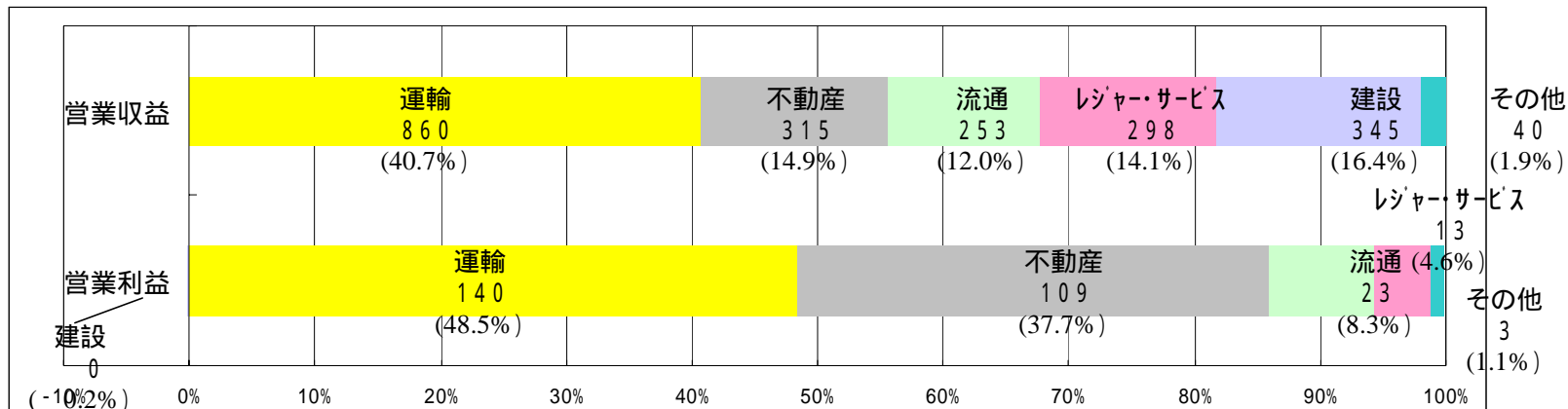
1) 構成状況 (2008年3月末現在)

【連結子会社49社・非連結子会社9社・関連会社6社(うち持分法適用会社5社)】

運輸業	不動産業	流通業	レジャー・サービス業	建設業	その他の事業
南海電鉄 南海バス 南海フェリー 他24社	南海都市創造 南海不動産 他4社	南海商事 南海砂利 他5社	南海ビルサービス 住之江興業 南海国際旅行 他16社	南海辰村建設 日電商会 他2社	南海印刷 南海保険サービス アド南海 他4社

() 南海電鉄と南海都市創造は複数のセグメントに重複して含まれます

(注) セグメント間取引を含む (単位: 億円)



4. セグメント別の状況

2) 運輸業の実績

(単位:百万円)

(%)

	2007年3月期	2008年3月期	増減額	増減率
鉄道事業	58,097	58,992	895	1.5
軌道事業	1,442	1,429	13	0.9
バス事業	19,422	21,219	1,797	9.3
海運業	3,311	2,472	839	25.3
貨物運送業	3,687	3,649	37	1.0
車両整備業	3,863	4,108	245	6.4
消去(セグメント内)	4,697	5,861	1,163	-
営業収益	85,126	86,010	884	1.0
営業利益	14,297	14,004	292	2.0
減価償却費	11,186	11,688	501	4.5
資本的支出	12,489	14,131	1,641	13.1

4. セグメント別の状況

3) 不動産業の実績

(単位:百万円)

(%)

	2007年3月期	2008年3月期	増減額	増減率
不動産賃貸業	19,691	19,784	92	0.5
不動産販売業	5,781	12,340	6,558	113.4
消去(セグメント内)	394	564	170	-
営業収益	25,078	31,560	6,481	25.8
営業利益	8,721	10,902	2,181	25.0
減価償却費	4,083	3,929	154	3.8
資本的支出	929	2,759	1,830	197.0

4. セグメント別の状況

4) 流通業の実績

(単位:百万円)

(%)

	2007年3月期	2008年3月期	増減額	増減率
ショッピングセンターの 経営	10,472	12,995	2,522	24.1
物品販売業	14,722	12,880	1,842	12.5
建築材料卸売業	3,343	1,338	2,004	60.0
消去(セグメント内)	1,925	1,839	86	-
営業収益	26,613	25,374	1,238	4.7
営業利益	1,488	2,393	905	60.8
減価償却費	2,285	3,200	915	40.1
資本的支出	7,458	5,807	1,651	22.1

4. セグメント別の状況

5) レジャー・サービス業の実績

(単位:百万円)

(%)

	2007年3月期	2008年3月期	増減額	増減率
遊園事業	1,032	941	90	8.8
旅行業	1,925	1,928	3	0.2
ホテル・旅館業	2,422	1,754	668	27.6
競艇施設賃貸業	4,991	6,540	1,549	31.0
飲食業	2,631	2,489	141	5.4
ビル管理メンテナンス業	13,676	14,468	792	5.8
その他	3,479	3,828	349	10.0
消去(セグメント内)	2,102	2,126	24	-
営業収益	28,057	29,826	1,768	6.3
営業利益	1,177	1,328	150	12.8
減価償却費	1,411	1,680	269	19.1
資本的支出	2,799	2,083	716	25.6

4. セグメント別の状況

6) 建設業の実績

(単位:百万円)

(%)

	2007年3月期	2008年3月期	増減額	増減率
建設業	49,732	34,570	15,162	30.5
消去(セグメント内)	51	45	6	-
営業収益	49,681	34,525	15,155	30.5
営業利益	718	45	764	-
減価償却費	148	137	10	7.0
資本的支出	55	66	11	20.5

4. セグメント別の状況

7) その他の事業の実績

(単位:百万円)

(%)

	2007年3月期	2008年3月期	増減額	増減率
印刷業	886	893	6	0.7
広告代理業	1,740	1,680	60	3.5
その他	1,779	1,476	303	17.1
消去(セグメント内)	14	15	0	-
営業収益	4,392	4,034	358	8.2
営業利益	338	312	25	7.6
減価償却費	26	28	2	9.7
資本的支出	35	6	28	81.3

南海電気鉄道株式会社

〒542-8503 大阪市中央区難波五丁目1番60号

総務室 IR広報部

TEL:06-6644-7125 FAX:06-6644-7123

URL:<http://www.nankai.co.jp/>

本資料は投資勧誘を目的とした資料ではありません。あくまでも参考資料であり、正確な決算数値等は決算短信・有価証券報告書等をご参照ください。本資料で記述しております業績予想及び将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、物価変動等、多分に不確定要素を含んでおります。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により業績予想と乖離することもありますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。